

わたしたちの暮らしを守る現場を・・・

～3年生社会科見学～

12月9日(火)、3年生が社会科の“わたしたちの暮らしを守る”地域の施設見学として、杵築消防署と杵築幹部交番に行きました。

最初の見学地の消防署で、署長さんが子どもたちに施設の案内をしてくださっているときのことでした。救急車の出動要請が放送で流れてきたのです。緊迫した空気に包まれ、署員の方が、事務所から走って要請内容が映し出されたモニターに向かったかと思うと、あっという間に準備し、救急車が出動していきました。その様子を見て、「もう出るん!」「速い!」と驚きの声をあげる3年生。一秒を争う生の現場の緊張感を肌で感じ、目の当たりにしての見学スタートとなりました。

消防士の方たちは、要請があったときに消火道具が入った重い鞆を持って走ることもあるそうです。その大きな鞆を、子どもたちは持たせてもらいました。「重い!」簡単に持ち上げられません。私も持ち上げようとしたのですが、かなりの重さです。この鞆2つを消防士一人が両肩から下げて走っていくとのこと。消防士のすごさに子どもたちは驚いていました。



消火訓練も欠かせず、夏も消防服を着ながら訓練を行うのはとても暑くて大変だというお話も伺いました。

続いて、杵築幹部交番に行きました。交番では、パトカー、白バイ等を駐車場の定位置から出し、子どもたちが乗れるようにと準備をしてくださっていました。子どもたちは目を輝かせながら乗りたい乗り物に一目散。大きなバイクにまたがったり、パトカーに乗ってみたいと、ちょっぴり緊張の中貴重な体験をさせていただきました。



その後の署長さんのお話で、仕事の一つに地域のパトロールをしたり、銀行やお店に立ち寄りたりしていると教えていただきました。また、柔道・剣道・車の運転訓練・拳銃の訓練・鑑識の訓練も行っているとお話いただきました。

消防署の方や警察署の方が、私たちの暮らしが安心・安全なものとなるよう、見えないところできつい訓練を行う等、日々努力を重ねてくださっていることを具体的に体感した子どもたちです。自分たちの安全・安心な暮らしを、昼夜を分かたず支えてくださっている方々への思いを深めた貴重な学びの機会となりました。

本校の強みを生かして

12月19日(金)、第3回学校運営協議会を開催しました。各教室の授業を参観いただいた後、学校教育目標『自ら考え行動し ともに高め合う 北杵築っ子の育成』に向け、学校・家庭・地域それぞれの2学期の取組や3学期に向けての取組について共有・協議をいたしました。協議の中で、「運動会では、子どもが30人とは思えないような生き生きとした姿や盛り上がりであった」という感想や、「子どもたちの勉強の点数をあまり気にしすぎない方がよいのではないか」



“この勉強は好きだ”という思いを持たせることが大切であり、そういう思いはがんばる原動力となる」「北杵築小は小規模だけれども、他学年との関わりが多く、先輩の姿を見て育っていける。これは、大規模校では体験できないことである」などの言葉をいただきました。

本校の小規模校のよさについて共有することのできた有意義な会となりました。

折しもこの日の昼休み、ちょうど1・2年生が生活科の学習の中で作ったおもちゃを使って、おもちゃ大会を開きました。事前に3年生以上に「遊びに来てください」と招待状を送り、みんなが遊びに来てくれました。上級生は1・2年生が説明やお世話に戸惑わないように、「これはどうするんですか?」と先に尋ねて説明を促してあげたり、楽しい大会になるよう場を盛り上げたりする姿があり、協議会で出されたように、学年を跨いだ強い結びつきが、さまざまな教育活動に息づいています。

交通安全標語

本校では、交通事故が無いようにと願いを込めて、今年度も子どもたち一人一人が交通安全標語をつくりました。

12月11日(木)から17日(水)まで、おおいの冬事故ゼロ運動の期間でした。その期間中に、交通安全意識高場の一助にさせていただこうと、交通安全協会北杵築分会長の森さんと私とで、子どもたちがつくった標語を、地域の10事業所に持っていき、掲示をお願いしてまいりました。事業所を訪問すると、昨年度や一昨年度に作成した標語を、今も大事に掲示してくださっており、大変ありがとうございました。